
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第6号（2016.10.14）

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室

多面的機能支払のメールマガジン第6号をお届けします。

今回の活動組織紹介は、「施設の長寿命化のための活動」と「農村環境保全活動」をテーマに記事の投稿をいただきました。

また、カバープランツに関する技術紹介等も掲載しました。

==== 第6号の目次 =====

1. 活動組織からの活動紹介

☆山口農・水・環（岩手県北上市）☆

☆南大東村農地・水・環境保全管理協定運営委員会（沖縄県南大東村）☆

2. 法面の省力管理に関する技術紹介

3. 「平成28年度 田園自然再生活動の集い」開催のお知らせ

（編集後記）

=====

■ 1. 活動組織からの活動紹介 ■

☆山口農・水・環（岩手県北上（きたかみ）市）☆

当組織は、岩手県南部の北上市に位置する水田約190haを対象に、農業者、自治会、子供会等を構成員として活動しています。地区内のほとんどが土水路であったため、漏水や大雨時の溢水（いっすい）、洗掘（せんくつ）などが発生し、維持管理の大きな課題となっていました。そこで、資源向上支払（長寿命化）に取り組み、土水路からコンクリート水路への更新を行っています。

材料は、近隣で発生した古材を一部再利用し、経費節減にも努めました。コンクリート水路に更新した結果、活動以前は31箇所が発生していた漏水が平成27年度には18箇所が解消され、地区の年間維持管理費が低減したほか、担い手など農家の維持管理作業の負担が軽減されました。今後も、経費削減の工夫を図りながら、一丸となって地域の財産を守っていきたいと思います。

山口農・水・環の概要（岩手県土地改良事業団体連合会）

→ <http://www.iwatochi.com/kankyo/kitakami2.php?eid=00008>

【山口農・水・環 会計 小原誠】

☆南大東村（みなみだいとうそん）農地・水・環境保全管理協定運営委員会（沖縄県南大東村）☆

南大東島は、沖縄本島から東方に 360 km 離れた場所に位置し、珊瑚礁の隆起によりできた島で、平坦な地形です。島の基幹産業は農業で、その 8 割がさとうきびです。当会では島全体の農地を対象に、平成 19 年度から、農道や防風林の適正管理、台風前後の見回り・復旧作業、ため池の初期補修、景観形成、水質保全活動などに取り組んでいます。

6 つの集落、5 つの子供会、8 社の生産法人、女性部や青年会など島全体で取り組む体制となっており、農村環境保全活動として、子供会のきび刈り体験、黒糖作り体験や、医療・福祉との連携として、デイサービスに通うお年寄りによる景観形成事業などに取り組んでいます。島全体で取り組むことで活動が住民の目に映りやすく、本事業に関心を持つ人が増え、住民の積極的な参加により、住民主体の地域づくりが出来つつあると感じています。

【南大東村農地・水・環境保全管理協定運営委員会 伊勢崎羊子】

■ 2. 法面の省力管理に関する技術紹介 ■

農業従事者の高齢化が進み、農地法面の草刈作業が困難となってきた中で、グランドカバープランツを利用した法面管理に熱い期待が集まっています。

「イブキジャコウソウ」は、北海道から九州まで広く自生するシソ科植物で、地表を這うように伸張して被覆します。被覆速度が早く、耐寒性が強いことが特徴です。

この「イブキジャコウソウ」をグランドカバープランツとして農地の法面管理に利用する事例が、岩手県内で増えております。

定植は、事前に除草剤等で除草した法面を防草シートで覆い、40cm×40cm の間隔に切り込みを入れ、「イブキジャコウソウ」の苗を植え付けます。定植適期は 4～6 月で、定植翌年の秋には法面を覆い尽くします。

定植準備と定植作業に多くの人手を必要とすることから、岩手県内では多面的機能支払交付金を活用した地域の共同活動として取り組む事例が多くあります。

【お問い合わせ先】

公益社団法人岩手県農産物改良種苗センター（鈴木）

住所：岩手県奥州市江刺区愛宕字八日市 69 番 4

代表：0197-35-8505

FAX：0197-35-0304

研究レポートはこちらから（岩手県農業研究センターHP 平成 27 年 3 月）

→ http://www2.pref.iwate.jp/~hp2088/repo/pdf/repo_760.pdf

施工方法等はこちらから（岩手県農産物改良種苗センターHP）

→ <http://www.iwate-tane.or.jp/wp-content/uploads/2011/11/a0109fbf690149718af2f12d07e22018.pdf>

【公益社団法人岩手県農産物改良種苗センター 鈴木馨】

■ 3. 「平成 28 年度 田園自然再生活動の集い」開催のお知らせ ■

田園の自然は、地域本来の自然と人の営み、その多くは「農」との関わりの中で生まれ、守られてきました。自然と人との結びつきを改めて見つめ直し、人が関わる再生活動によって築かれ、育まれてきた自然、文化、そして地域社会が継続的でより良いものになるよう、みんなで考えます。ふるってご参加ください。

【日 程】平成 28 年 12 月 5 日（月）13：00～（受付：12：00～）

【会 場】東京ウィメンズプラザ ホール（東京都渋谷区）

【参加費】無料（交流会は別途）

【定 員】120 名（先着順）

【申込み・問合せ先】

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

（一社）地域環境資源センター

田園自然再生活動事務局（担当：藤田）

TEL：03-5425-2461、FAX：03-3432-0743

E-mail：denen-saisei@jarus.or.jp

URL：<http://www.jarus.or.jp/>

イベント詳細（参加申込書）

→ <http://www.acres.or.jp/Acres/denen/H28/tsudoi.htm>

【（一社）地域環境資源センター 藤田幸子】

■ 編集後記 ■

農林水産省ではクールビズが終わり、省内でも秋の訪れが感じられますが、先日も台風が日本列島に接近するなど、天気の変化が例年にも増して予測しづらい気がします。

今週末は以前研修でお世話になった農家さんがワインの仕込みを行うと聞き、見学に行こうと思っています。雨が降らなければいいですが・・・。

それでは皆様、良い週末をお過ごしください。

◇メールマガジンの新規登録は次のサイトからお願いします◇

メールマガジンの新規登録・配信変更等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

既に本省及び農政局等で発行しているメールマガジンにご登録されている方は、パスワードが必要です。パスワードの発行はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

メールマガジンに関するご意見・ご感想はこちらから

ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）を掲載したい方や、取り上げて欲しいテーマがある方のメールもお待ちしております。

→ tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：秋山）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
